

附属世田谷小学校の子どもが心がけること 【低学年用】

◎いつでも、どこでも、だれとでも、にこやかに過ごせるあたたかな学校になるように

1. 皆さんひとりひとりが心がけること

「みんなが気持ちがいと感じられる生活をつくりまします」

そのために、HomeでもClassでも、みんなを大切にします

- ・なかまをたいせつにし、やさしく、あたたかな目を向けよう
- ・考えや好きなことが違う人ともいっしょに過ごし、相手のことをしろう
- ・困ったときは、たすけあおう
- ・困ったときやいやなことがあって自分で解決できない時は、先生や家族に伝えて力を借りよう

2. 人の体や心をきずつけることはぜったいにいけません（わざとではなくても）

たとえば次のようなことをしていませんか？

- ・人をいじめたり、無視したり、心からいやだと感じるようなことをする
- ・人をたたく、なぐる、ける、足を引っかけるなどの暴力をふるう
- ・人のものを隠す
- ・人がいやがる呼び方で呼ぶ、人が言われたくないことを言いふらす
- ・人をきずつける乱暴なことをいう
- ・人をけなす、ばかにする（人の見た目や家族のことなども）
- ・人のせいにして責める（自分の悪いことは言わない）

これらのことは、

「みんながしているから」「あいてがわるいから」「あいてがきらいだから」「じぶんもされたから」など、どのような理由があってもゆるされるものではありません。

ましてや大勢で一緒になってしてしまうようなことは、あってははいけません。

「面白かったから」「ふざけてやっただけ」「気がつかなかった・わからなかった」といっても、ゆるされません。

3. わかったら次にすること

- ・ぜったいにやらないというつよいきもちが必要（仲間がやっても）
よくないと知っているだけではいけません
- ・注意されたらやめましょう
注意されても直そうとしないのはいけません
うそや見ていないことを言うのはいけません
- ・気づいたら報告・相談をする
こうしたことを見かけたり聞いたりしたら、必ず先生たちに教えてください

◎ 1～3 これをみんなで実行すれば、誰かがいじめで悩むこともなくなるはず

※ 先生たち大人がしていること

- ・ 世田谷 小学校の子どもたちを多くの先生（おおせんせい）の目で見守（めみまも）って、ささえていこうとしています
- ・ 「してはいけないこと」をしているという報告（ほうこく）があったら、繰り返しきき取りをして注意（ちゅうい）をします
- ・ 誰（だれ）かがいやな思い（おも）をしていないか、関わる人たちから話（かか）を聞き（ひと）、それぞれの人の思い（ほなし）も聞きます
- ・ 誰（だれ）かが困（こま）っているとわかったら、その状態（じょうたい）がなくなるように力（ちから）をかします
- ・ どのようなことが起（お）こり、何（なに）があったのかを考（かん）えます
- ・ 解決（かいけつ）のために、関わる人たちそれぞれが何（なに）に気（き）をつけていけばいいかを伝（つた）えます